



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 令和2年5月29日  
発行者 校長 芝田智昭

No. 349 6月号

## 対応ではなく未然防止

尾久西小の令和2年度がようやく幕を開けます。月曜日にはかわいらしい新入生66人を迎え、全校児童404人での船出です。この3か月間における家庭での見守りやご指導、さらには学習課題等の引き取りなど、本当にありがとうございました。保護者のみなさまのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、学校は再開しますが、2月までのような学校生活を送ることはできません。最も重要なのは感染予防です。4月の学校だよりでお示した学校経営方針には、学校経営の重点の第一に「安全・安心な学校体制の構築」を掲げています。その中の一番に「最優先は子どもの生命・安全・健康」、二番に「対応ではなく未然防止」を設定しています。このことを徹底するために、本校では校医の助言を受けながら、主として以下のような感染予防策を講じてまいります。

### 1 分散登校

“三密”を避けて教育活動を行うために実施します。詳しくは本日配布の通知及び学年だよりをご覧ください。なお、感染防止の観点から給食の提供を希望しない場合は担任にご相談ください。

### 2 検温の継続

現在もお願いしている検温を、学校再開後も継続します。

### 3 マスクの着用

家での着用を忘れて登校したときに備え、予備のマスクをランドセルに入れておいてください。

### 4 消毒

教室内の机やドア・スイッチ等の共用部分、手すり、蛇口、トイレ等の児童が触れる箇所は、教職員が毎日定期的に消毒します。

### 5 傷病対応での動線の分離

発熱等がある児童を保健室で対応すると、保健室から感染が拡大する可能性も考えられるので、体調不良の場合には保健室以外の別室で対応する場合があります。また、保健室については、けが対応スペースと病気対応スペースに分け、けがの児童が病気の児童とできるだけ接しないように工夫します。

以上が主な方策ですが、裏面に詳細をお示ししているのであわせてご確認ください。